

## 2014年産オーストラリア・レーズン市況



オーストラリア・レーズンは凡そ20年前までは約4,600軒の農家で、7万5,000～10万トンを生産した実績もありますが、賃金高と豪州ドル高によって競合先であるトルコ産にシェアを奪われた事により輸出力は低下しました。その後のワインブームもあり、多くのレーズン農家がワイン向けのブドウに転作を行なった事により、現在では約700軒の農家で最高でも1万8,000トン程度の収穫量となっています。

2011年、2012年産オーストラリア・レーズンは、生育期や乾燥期における洪水や降雨の影響を受け、2年連続の減産となった状況に加え、品質もダークカラーが多い不出来なものになりましたが2013年産は生育期、乾燥期共に順調に推移した結果、1万8,000メトリックトンと4年ぶりに豊作型の収穫量となり、また品質的にも良質なものが収穫されました。

2014年1月7日現在、産地であるミルドラ地区の気温は40℃を超える日もあり、高温ではあるものの、降水量は正常な水準で推移しています。これを受け、原料ブドウは昨年同様順調に生育を続けており、このまま乾燥期を終えるまで降雨がなければ、2014年産オーストラリア・レーズンの収穫量は昨年とほぼ同様の収穫量と品質になると考えられますが、サルタナレーズン、カレンツについては乾燥が終了する3月末迄、サンマスカットレーズンについては乾燥が終了する4月末迄の天候には注視が必要です。

オーストラリア・レーズンは他国産レーズンと比べ高価なものとなっており、数量も限定的ですが、皮が薄く、肉厚である事が特長のため、多くのお客様よりご愛顧いただいております。

オーストラリアレーズン収穫量推移

(単位:メトリックトン)

	サルタナレーズン	サンマスカットレーズン	カレンツ	合計
2010年	9,400	1,800	1,400	12,600
2011年	4,150	1,000	1,500	6,650
2012年	8,150	2,500	2,000	12,650
2013年	13,000	2,500	2,500	18,000
2014年(予想)	-	-	-	18,000

